



鷺宮都営住宅自治会有志  
「3月11日の集い」

佐々木祐滋さんのミニライブ

「顔晴ろう(がんばろう)」  
の額。折鶴で作られて  
います。※詳しくは2面



平成 24 年  
(2012 年)

5/1

編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会  
〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話 3330-4127 FAX 3330-4131

# 鷺宮

No. 318

地域ニュース

【題字は長谷川昂氏】

◆鷺宮区民活動センター運営委員会だより◆

## 鷺宮区民活動センター運営委員会って何？

地域センターが再編され、昨年の7月に区民活動センターが設置されました。区民活動センターは地域のみならず、地域自治の活動拠点です。暮らしやすい街づくりに向けた事業の実施や、地域の支えあい活動を進めるための働きかけをしていますので、ぜひ活用してください。鷺宮区民活動センターは旧地域センターの1階部分(下図参照)に、地域活動を支援する「運営委員会」、集会所の貸し出しなどを行う民間事業者、地域支えあい活動を推進する区職員が在籍しています。今回は「素朴な質問Q&A」により運営委員会をご紹介します。

### ～Q&A～

Q 鷺宮区民活動センターはい

A 平成23年7月19日に、『鷺宮地域センター』を、地域住民が自主的・主体的な取り組みを行う『鷺宮区民活動センター』と、窓口サービスを行う『鷺宮地域事務所』に再編しました。

『鷺宮区民活動センター』は、地域住民による地域自治の活動の拠点として、地域活動支援や集会所の貸し出しなどを行っています。

『鷺宮地域事務所』は、住民異動届の受付や証明書の発行、各種福祉サービス受付、各種公金の収納などの窓口サービスを行います。

Q 区民活動センターはどんな仕事を  
しているのですか？

A 1. 地域活動の支援【運営委員会  
が行っています】  
①地域の課題解決に結びつく取組みを  
行っています。  
・地域ニュースなどによる地域団体の  
活動の情報収集・発信  
・暮らしに密着した課題の解決に向け  
ての地域事業(講演会や勉強会)の開催  
②地域の活動が広がり、地域力が向上  
するように地域団体の活動支援やネッ  
トワークづくりを、進めています。

※地域団体とは、地区町会連合会、  
赤十字奉仕団分団、地区募金委員会、  
地域防災会、青少年育成地区委員会、  
ボランティア団体などです。  
2. 集会所の貸し出しなど【民間事業  
者が行っています】

Q 運営委員会の地域事業はどんなこ  
とをしているのですか？

A 区民活動センターは、地域の方々  
が運営しています。地域ニュースの発  
行や地域事業は、多くの皆さんの意  
見・要望を取り入れていきます。昨年度  
は、大震災に備えた『防災講演会』や  
地域で問題となっていた『自転車の安  
全教室』などを開催しました。

Q PTAなどの地域団体とは、どん  
なかかりがありますか？


A 地域内の小中学校4校から、各P  
TAの代表者に運営委員会の委員にな  
っていただいています。その他、地域  
で行われる地区まつりや各種講演会な  
どには、多くのPTAの方にお手伝い  
をいただいています。昨年12月に運営  
委員会が主催した『ウィンターコンサ  
ート』は児童・生徒をはじめ学校PT  
Aの協力のもと盛大に開催することが  
できました。

Q 運営委員会の委員は、どんな人  
で選ばれるのですか？

A 運営委員会は、地区町会連合会か  
ら推薦された方と、地域で広く認知さ  
れた活動を行っている団体から推薦さ  
れた方で組織されています。現在、鷺  
宮区民活動センター運営委員会の委員  
は、地区町連、青少年育成地区委員会、  
民生児童委員協議会、日赤奉仕団、商  
店会、高齢者団体、保護司会、小・中  
学校PTAから推薦された委員など、  
30名です。また、区民活動センター内  
には運営委員会の事務を行う事務局員  
が2名います。

平成24年度運営委員会第1回地域事業 文化講演会  
～ヨーロッパ歴史芸術散歩～  
**ビールとワインで見るヨーロッパの謎**  
日時:6月19日(火) 午後2時～  
会場:鷺宮区民活動センター3階洋室2号  
講師:小宮正安氏(横浜国立大学准教授)

小宮先生は鷺宮三丁目出身。鷺宮小学校、第八中学校卒業で、東京大学大学院修了。専門はヨーロッパ文化史・ドイツ文学等。ヨーロッパの歴史や裏話を、映像を交えて楽しくお話していただきます。



### 平成24年度 事業計画

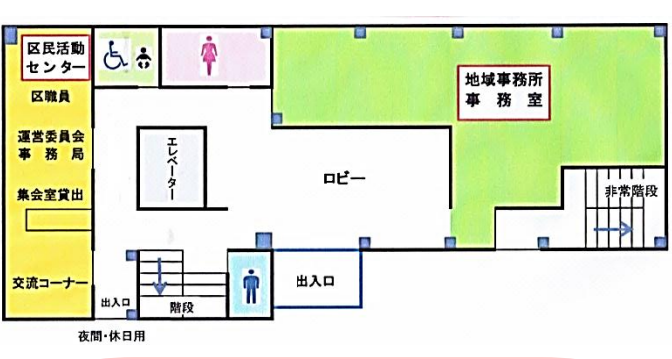
◆地域事業

1. 文化講演会(左記)
2. 自転車のルールとマナー
3. 防災講演会(講師:青山侑氏)
4. 子ども関連事業
5. 室内楽コンサート

◆広報

1. 地域ニュース発行(6回発行予定)
2. ホームページ開設

◆その他の地域支援



鷺宮区民活動センター、地域事務所 1階

## 松山の人物展

かがやく郷土の先人たち

10月27日(木) → 11月21日(日)

門山周智 石渡幸之輔  
高力直克 川上謙彌  
阿部正巳 佐々木良吉  
石綿さたよ 原のふ子

酒田市松山文化伝承館

『松山の人物展』ポスター

### 松山の人物展

神戸 澄雄

昨年4月16日、先代ママ(創立者石綿さたよ)の23回忌の法要を卒園生らと営み、ありし日のママを偲びました。そこへママの郷里、酒田市松山文化伝承館から、10月27日から今年2月12日まで企画展として「松山の人物展」を開催し、明治から昭和までの間に酒田市松山地区で生まれ、各分野で活躍した八名の方を顕彰することになり、ママを取り上げたので資料を提供したいとの要請を受けました。

早速、山形在住のS氏(86歳)に知らせました。氏は終戦直後、ママの戦災孤児救済の仕事を手伝いながら大学に通い、卒業して郷里松山に戻り、山形新聞に就職、支局長を歴任して定年を迎えられた方です。ママを敬愛して止まず、数年前、松山生まれの、昭和の女性三人展を企画、ママと当時のフアッション界の第一人者原のぶ子さん、銀座で料亭を経営、そこで日本の政治が話し合われた鈴木よねさんをクロージアアップしようとしたところ、松山町と酒田市の合併のため又の機会にと言われていた企画展なので、たいへん喜ばれ全面的協力と適切なアドバイスをいただきました。

先陣を切って、オープンの日には夫婦で出向きました。好天に恵まれ、庄内平野を悠然と最上川が流れ、刈り田に白鳥が飛来し、鳥海山が遠望できる典型的な日本の郷里(ふるさと)をまのあたりにして、ママの少女時代を偲びました。展示場は期待以上で、何より感激したのはポスターの写真で、膨大な資料の中から半世紀前に私の撮った、ママの七五三着付けのスナップが選ばれていたことでした。展示替えもあったので、最終日の前日再訪しましたが、北国の雪のものすごさで度肝を抜かれました。人物展は大好評のうちに無事幕を閉じたそうです。(愛児の家庭理事長)